

Y S
MEN
INTERNATIONAL

ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区



Let Your Light Shine

「ともし火を輝かそう！」

広報マニュアル

このマニュアルは1998/2000年度国際広報事業主任シャーリー・マート女史によって作成されました。そして、山川一郎翻訳委員長(姫路グローバル)に和訳していただいたものを西日本区広報事業委員会がアレンジ、編集いたしました。

目 次

まえがき.....	1
3つのP.....	2
イメージの大切さ.....	3
なぜメディアに採り上げてもらうのか.....	5
取材を受ける為の秘訣.....	6
TV・ラジオで採り上げられる為に.....	9
スポットライトを浴びよう 成功への8つのヒント.....	15

ま え が き

「また、ともし火をともし、升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

マタイによる福音書5章 15～16 節

私達ワイズメンは、イエス・キリストが示された愛のこぼれを心にとめることが大切だと思っています。この小冊子は、私たちが点したともし火を人々に見てもらおう方法について、書かれたものです。

明るい光 例えば太陽 を直接見るのは困難です。私たちがこの世界を見るためには、何かに反射された太陽からの光を利用します。反射された光は物事の陰影や色を明らかに示します。それは私たちが見ているものを、はっきりさせます。

それは、私たちの周囲の本当の美しさを照らし出し、暗い片隅にも光を当てます。

だから、光を輝かそうではありませんか。人々に私たちは YMCA のパートナーであるとはっきり言おうではありませんか。私たちがYMCAと連携してタイムオブファストを通して行っている世界規模での開発プログラムについて、YMCA の若い研修生の為の奨学資金について、人々に声高らかに語ろうではありませんか。何人の少年達を生まれて初めてのキャンプに送り込んだかを人々に語ろうではありませんか。私たちの地域の一角を照らし、他の人々も私たちと行動をともにするように鼓舞しようではありませんか。

私たちのともし火を本当に輝かせましょう。

3つのP

Publicity(広報)

広報は人びとに何かを伝えることです。それが出来る為には、伝える方法が必要です。

Promotion(宣伝)

宣伝もまた人びとに何かを伝えることです。何か特別なプロジェクトや活動には是非宣伝が必要な場合があります。この場合は、宣伝しようという特に強い意欲が必要です。

Public Relations(広報活動)

広報活動とは上の二つを結び合わせたものに、地域との健全で有意義な交流が出来るような実際の日常活動が必要です。こうして、貴方のクラブは高い評価を得、奉仕能力をさらに高めて行く事が出来ます。



イメージの大切さ

照明 衝動 想像
イメージ アイディア

“I”の力

イメージと言う単語はIではじまります。イメージは一つの Impression (印象)であり、Idea (アイディア)です。

イメージは、Imagination (想像)を刺激します。ではこのイメージを私たちの地域でどうすれば高める事が出来るでしょうか。

私達に出来ることはたくさんあります。

常時、必ずワイズメンのバッジを装着します。

クラブの会合や活動、ワイズメン大会などには必ずクラブのシャツやジャケットやセーターを着ると効果的です。

車にワイズメンのマーク入りのエンブレム、ウィンドーステッカーをつけます。

YMCA において、私のクラブは・・・

建物の外側にワイズメンのロゴを表示します。

YMCA のロビーに、例会日、時刻、例会会場を表したワイズメンのボードを常に掲示しておきます。

YMCA のパンフレット置き場に、常にワイズの文書や当月のプリテンを入れておきます。

YMCA のフロントデスクで、ワイズの特別の活動やイベントについての情報、時間、場所などが判るようにしておきます。

私たちのクラブは次のことが出来ます。

もし許されるならば私たちの地域の目立つところに、ワイズメンズクラブ国際協会のロゴ、クラブ名、例会日・時間・場所を記したボードを掲げます。

私たちの奉仕活動の現場にクラブ名とワイズのロゴを明

示します。
他の奉仕クラブと共同プロジェクトや相互援助を通して協働します。
ワイズメンズデーを、地域にアピールします。
教会ではワイズや YMCA の奉仕活動をアピールします。
クラブの活動アルバムを作成し、そこに写真、表彰、コメント、承認等々を記載、貼付しておきます。そのアルバムを色々な行事の時に見てもらえるようにします。

“I”の重要性

私は私の Imagination(イマジネーション)を働かせて、
もっとたくさんの Idea(アイディア)をだし、
クラブの存在を Illuminate(輝かせ)、
クラブの Image(イメージ)を
Improve(向上)します。

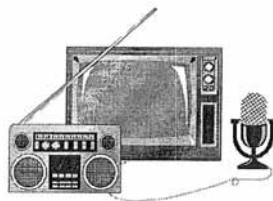
このことは私たちの未来に大きな Impact(影響)を与えるでしょう。

(me-dia)マスコミュニケーションの方法・手段、
(例)新聞、ラジオ、テレビジョン、インターネット

何故メディアに採り上げてもらうのか

5つの理由

- ・ クラブのYMCAと地域に対する奉仕について人々にアピールできます。
- ・ クラブのメンバーを広く知ってもらい、認知してもらうことになります。
- ・ ワイズメンの特色を広く理解してもらい、クラブのイメージを高めます。
- ・ ワイズメンやワイズウィメンであることに誇りを感じさせ、クラブの奉仕活動をより活発にし、又出席者を増やす事になります。
- ・ 会員の増強や資金つくりの活動や参加の活性化につながります。



取材を受ける為の秘訣

4つのキーポイント



1. 色々なメディアへのアプローチ

各クラブに広報委員会を置きましょう。広報委員長は地元の新聞社、雑誌社、ラジオ局、テレビ局をリストアップし、その電話番号、ファックス番号、メールアドレス、担当者の名前等を記入しておきましょう。報道機関にちょっと電話されれば、奉仕団体担当の記者や編集者の名前を教えてください。

次に広報委員会は、上記の報道関係者との関係を深めなければなりません。ニュースとして価値のあるイベントには、必ず取材を呼びかけましょう

広報委員会は、最低2種類の新聞関係者と接触を保っておく事が必用です。一つは、全国紙や地方紙の市や地域担当デスクです。

奉仕団体のニュースは、これらの新聞の、地方版、奉仕活動欄、社会面等で特別ニュースとしてしばしば取り上げられます。

従って、このような版や欄の担当記者との関係を維持することが必要です。

今一つは、ミニコミ紙です。こう云った新聞は、奉仕団体の活動については、頻度に於いても全国紙を上回るのが普通です。こういった新聞の締切日を把握しておくようにしましょう。

2. 活動を記事や写真に取上げてもらう為に

先ず、その地域に募金や奉仕活動を通して大きく貢献するワイズメンとしての活動に彼らの目を引きつけましょう。例えば、TOF,地域奉仕活動、ワイズデ - など。或は「とっともワイズデ -」(Make a Difference Day)の活動等は如何でしょうか。

メディアの関係者は、ヴィジュアルな背景や良い写真になる活発な活動を常に求めているものです。貴方のクラブでは、ワイズメンやその存在目的について、深い経験や知識を持っているメディア係を選んでおく必要があります。そして又、下に述べ

る「プレスキット」を用意しておく必要があります。

貴方のクラブのスポークスマンは新聞社とのインタビューがうまく行くように、次の点を参考にする必要があります。・・

- メディアの人びとに恐怖感を持たないで下さい。彼らは紙面や放映・放送時間帯を埋める必要があり、あなたはそれを可能にする大切な情報を提供するのですから。
- 情報をどんどん与え、事実を重点にし、積極的、且つ明るく接触してください。
- 短い言葉で、簡潔に話してください。
- 確信をもって、インタビューを終えてください。

3. 新聞社とのコミュニケーションについて

年に少なくとも、1ページものの記事原稿なら4回は送りましょう。即ち、イベントや募金活動や特別ゲスト等について新聞社に知らせる事です。



記事原稿を書く場合

記事原稿には、誰が(Who)、何を(What)、何時(When)、何処で(Where)、そして何故(Why)という5つのポイントを必ず書いてください。

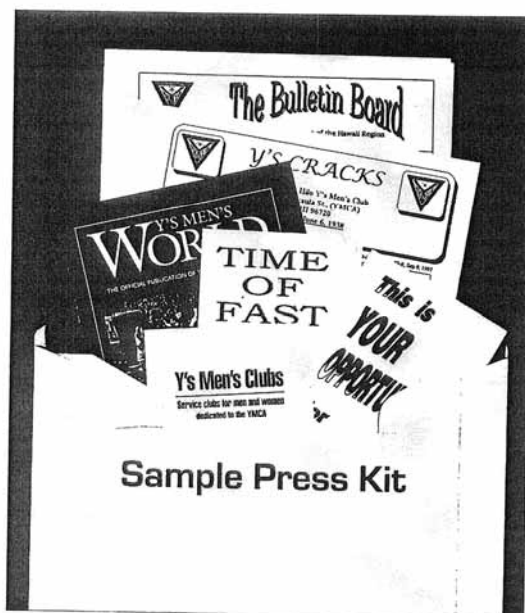
(注)ワイズメンズクラブという名前を原稿の中にしつこいくらい、書いてください。宣伝の為には、その団体の名前が何回も記載されていると人びとに覚えてもらう可能性が強まると云う調査結果が出ています。

- 写真はできるだけ添付しましょう
- 写真は白黒であれ、カラーであれ、裏面に、ハッキリと、フルネームを書かれる事が必要です。その際は、フェルトペンを使用してください。その他の筆記用具の場合は、紙や写真を傷つけることがあります。

(注)原稿を送る前に、送付すべき記者・担当者の名前を電話等で確認する事(時として変わっていることがあります)。その際、記事原稿を送るので注意して扱って欲しい旨を伝えておくこと。

プレスキットについて

特別なイベントの場合はプレスキットを作成してください。プレスキットは、ワイズメンズクラブについての説明資料、即ちワイズメンズクラブとは何か、何をやる団体なのかという説明資料、最近のクラブ、部や区のプリテン、ワイズメンズクラブ国際協会についての資料、貴クラブが最近獲得された色々な賞や表彰の実績を示すリスト等々です。その中には、国際協会の正式ウェブサイト(www.ysmen.org)も掲載し



ておいて下さい。記者が来られた時に、広報委員長が対応され、そのイベントに関する資料と共にこのキットを手渡してください。

礼状について

記事が記載された後では、そのことに対して、出来るだけ早く礼状を書くか電話を入れましょう。



TV・ラジオで採り上げられる為に

4つのキーステップ



地元の報道局へ地域性や話題性のある情報を流しましょう。

人びとのために奉仕をするワイズメンズクラブ国際協会にとって、膨大な視聴取
者数を持っている放送産業は、人々に広く知ってもらう為には最高のメディアと言え
るでしょう。

放送産業は、特定のグループの記事だけを取り上げるべきだと言う考え方を持っ
ていません。むしろ、全ての放送局は、広く人々の利益の為に奉仕できるという実績
がその誇りなのです。

それでは、ラジオやテレビに取り上げてもらう為に、どうすればよいのでしょうか。
ものごとには全て正しい道と間違った道があります。ラジオやテレビでの放送・放映
についてもまさにそうです。この章で皆さんにお伝えしている情報は実は、放送産業
から直接得たものであり、すべてのワイズメンのグループの成功のために資するも
のであって、過去沢山のグループが陥った落とし穴に陥らないことを目指して提供
するものです。

1. どんな報道番組があるかを知ること

成功するためには、先ず放送局がどんな番組を持っているかを知ることです。

番組

特別番組: シリーズでの、或は1回限りのインタビュー、パネルディスカッション、
グループディスカッション、デモンストレーション等。

断片ニュース: 上記と同じですが、他の番組の中に挿入される、上より短い報道。

その他の報道

スポット: 1日何回か行う短い報道



パーソナリティー・スポット:

ディスクジョッキーとか、婦人問題のディレクター等による報道。

ニュース:通常の地域ニュースの中に挿入される短い報道で、報道価値のある行事について誰が、何を、何時、どこで、何故行ったかを簡略に知らせるもの。

論 説:地域のプログラムやプロジェクトについて、放送局のトップの考え方や観方を提供するもの。もし、貴クラブの見方と違う場合は、それに対する反論をオン・エアさせてもらうことが出来ます。

2.取材を受ける場合

何を・誰が・如何にして

貴方のクラブのアピールが効果的であるためには、放送局に情報提供する前に、こういった点を明確にしておくことです。

あなたのクラブの伝えたいことは一体何なのですか。どんな考え方を相手に判ってもらいたいのですか。

誰に対して発信したいのですか。単にたくさんの視聴者にあなたのクラブのメッセージを届けたいのか。特に、最も届けたい相手があるのですか。

あなたのクラブのメッセージをどのようにすれば最もよく判ってもらえるでしょうか。どうすればたくさんの人の関心を引くことが出来るでしょうか。簡単なメッセージで、効果的に人々に届かせることは出来るでしょうか。

こういった点、特にあなたのクラブのメッセージは何なのかということをはっきりしておくことが、放送してもらえるかどうかの決め手になるでしょう。

番組出演する場合

どのようなプログラムにしる、放送局との協力が必要です。何かをしてもらおうとすれば、チームワークが必要になります。

- 焦点を絞り、実際に取上げやすい形でメッセージを提供しましょう。漠然とした情報しか出さず、放送局の担当者の時間をいらずに取ってしまうようなことは慎みましょう。
- 放送局からのアドバイスには耳を傾けましょう。放送局はプロであること

を忘れてはなりません。

- 放送局のいう通りのやり方に合わせましょう。特別扱いやその変更等を要求しない方がよいと思います。

アポイントをとろう



放送局で働く人々は非常に忙しいと考えましょう。だから、事前にアポイントもなく、飛び込むことは避けましょう。先ず電話して、訪問時間を決めてもらうことが大切です。

約束時間を守ろう



取材時間や生放送の時間が決まれば、その時間を守る事が絶対に必要です。

時は誰をも待ってはくれません。それに遅れて、アポイントがキャンセルされたり、放映が出来なかったりする事は何としても避けたいものです。

その他の重要事項

- 事前に全ゆる原告をプログラムディレクターに提出しましょう。10 日前でも早すぎはしません。
- 記事原稿をニュースディレクターに出来るだけ早く提出しましょう。出来れば1週間前が望ましいとおもいます。
- 原稿は、1行おきに、用紙の片面だけに書くこと。1ページ目は、上から3分の1から書き始めること。余白は十分に残しておく事
- 要求されれば予備の部数を準備する事。
- 各原稿の最上段に、ワイズ関係の名前、住所、電話番号、Eメールアドレス等を記入しておく事
- そのイベントについての全ゆる事柄、即ち何を、いつ、どこで、だれが、何故、について余さず打合せしておく事。放映・放送の日付を具体的に聞いておくこと。
- 取材してもらいたいことを重点にまとめ、必ず入れてほしいことははっきり伝えておくこと。

ラジオの場合



- 放送時間は10秒、20秒、60秒等という単位で決められます。10秒なら、25語、20秒なら50語、60秒なら150語程度が話せる語数となります。(日本語の場合は大体60秒で、400字程度を考えてはどうでしょうか)
- そのことがらについて、簡単で、しかも形や興行きや色彩が想像できるような描写的な表現が必要です。ラジオは耳にしか届かず、聴取者が、あなたが創造しようとされる絵を心の中で見る事が出来るようにすることが大切です。
- 原稿はハッキリみえるものを数部作っておくと良いと思います。カーボンコピーや半透明の硬質の紙など、音がするような紙は避けてください

テレビの場合



- あなたのメッセージを放映するために使われる資料や写真を番組やニュースのディレクターと予め確認しておくこと。
- 資料は前もって内容をチェックし、どこで使うかをよく打合せておくこと。
- このような映像に伴う説明文を必ず作っておくこと。
- ラジオよりもややゆっくりしたペースで話すことを前提に説明文を作っておくこと。テレビの場合は、10秒で20語、20秒で40語、60秒で125語程度を標準と考えること。
- 写真を使用する場合は、表面に光沢のあるものよりも、スタジオの照明を反射しないように、艶消しのもののほうが適当です。
- 放映に使ったテープ等を返却してもらえば、予め要返却の旨をハッキリしておいてください。でないと、捨てられてしまうことが多いようです。

3. 生出演する場合

あなたの声や外観が映えるように局から必ず注意されます。ライブであれ、録画であれ、色々な注意を局からされますので、それには協力しなければなりません。例えば下記のようにです。



ラジオの場合



- マイクから適当な距離を維持すること。
- 出来るだけ音がしないように、原稿を扱うこと。
- ガチャガチャ音を立てるようなプレスレットなど、不必要な騒音を出すものは身につけないこと。

テレビの場合

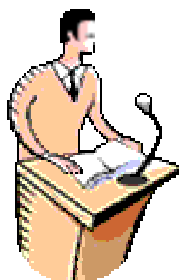


- 出演中は、ディレクターやフロアマネージャーに協力してください。こういったスタッフはあなたの動作の速さを調節するために、色々な指示をしてくれますので、それに従ってください。

4. 有料広告か無料サービスか？

広報活動の重要性

あなたの地方のラジオやテレビ局に、クラブ例会などでスピーカーになって貰うことが非常に大切です。このように局から人々の中に出て行くことを局は非常に大切だと考えており、招待を喜んで受ける局が次第に多くなって来ています。こうした機会に、お互いがお互いをよりよく理解することが出来るようになります。このような相互コミュニケーションこそ広報活動の最良のやりかてではないでしょうか。



感謝のことは

報道に取り上げてもらった後は、協力してもらった事に対するお礼として、局のスタッフに礼状を送ったり電話を入れることが大切です。これによって、関係が強まり、将来又とり上げてもらう機会が増えることでしょう。

その際は、その報道について得られた反応について知らせる事が有効です。こういった反応を局は非常に気にしているからです。



スポットライトを浴びよう！

成功への8つのヒント

1. 何が報道の価値があるかを知ること。

例えば、救援活動、イベント、新クラブの設立、地域募金活動、受賞、等々。

2. 地域の記者に会うこと。

記者を例会に招待してはどうでしょうか。何か記事を掲載してもらうことが近く予想される場合は、それまでの適当な時期に例会に招待し、よい関係を作り上げることを考えるとよいと思います。又、記事を最適の局に取り上げて貰う為に、最新の報道機関や記者のリストを常に更新しておくこと。

3. 接触すること。

記事原稿を常に情報として流しておくことをお勧めします。情報は記事編集者やディレクターに直接送ったほうが効果があります。

4. プレスキットを備えておくこと。

5. 簡潔で正確であること。

インタビューの間は、質問に対しては簡潔に答え、例えば地域から得られた募金や地域から得られた募金や地域に差し出す献金の金額等は数字で把握しておく必要があります。

6. 常に前向きで、積極的であること。

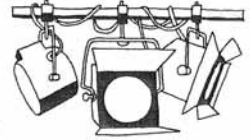
否定的な姿勢はとらないこと。例えば、「貴クラブの会員は減っていますか？」と云う質問に対しては、「今地域の中でのビジネスマンに会員になってもらうようにと云うキャンペーンをやっているところです。詳細は、私のところへ電話してください。電話番号は・・・」という具合に答えて下さい。

7. 事前にインタビューのアポイントを取っておくこと。

そして、その変更の要求があれば快く応じること。

8. 礼状を必ず出すこと

局のディレクターに、記事を取り上げてもらったことに対して、礼状を送る礼儀を忘れてはなりません。



2002年5月15日 発行

広報マニュアル

編集 西日本区広報事業委員会

発行所 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

西日本区事務所

〒550-0001

大阪府大阪市西区土佐堀 1-5-6 大阪 YMCA 会館 1F

06-6459-3317 FAX 06-6459-3318

ワイズメンズクラブ広報マニュアル



Let Your Light Shine

「ともし火を輝かそう！」

あなたのクラブが
地域のスポットライトを浴びるために